

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2019年11月13日

【四半期会計期間】 第43期第2四半期(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)

【会社名】 イマジニア株式会社

【英訳名】 Imagineer Co.,Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長兼CEO 澄岡 和憲

【本店の所在の場所】 東京都新宿区西新宿二丁目7番1号

【電話番号】 03(3343)8911(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員CFO 中根 昌幸

【最寄りの連絡場所】 東京都新宿区西新宿二丁目7番1号

【電話番号】 03(3343)8911(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員CFO 中根 昌幸

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第42期 第2四半期 連結累計期間	第43期 第2四半期 連結累計期間	第42期
会計期間	自 2018年4月1日 至 2018年9月30日	自 2019年4月1日 至 2019年9月30日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高 (千円)	2,341,956	2,023,967	5,164,880
経常利益 (千円)	371,685	262,217	750,991
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	250,011	159,826	503,615
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	368,987	132,100	674,250
純資産 (千円)	9,623,647	9,828,853	9,808,940
総資産 (千円)	10,368,855	10,415,887	10,671,101
1株当たり四半期(当期) 純利益 (円)	26.04	16.65	52.47
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)			
自己資本比率 (%)	92.1	93.4	91.1
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	29,340	9,761	880,905
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	692,962	2,016	1,706,416
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	144,903	120,870	266,646
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	4,631,843	6,242,553	6,366,524

回次	第42期 第2四半期 連結会計期間	第43期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 2018年7月1日 至 2018年9月30日	自 2019年7月1日 至 2019年9月30日
1株当たり四半期純利益 (円)	14.60	12.47

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

なお、関係会社の異動につきましては、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更」に記載しております。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出を中心に弱さが長引いているものの、緩やかに回復しております。ただし、先行きについては、米中通商問題を巡る緊張、中国経済の先行き、英国のEU離脱の行方、消費税率引き上げ後の消費者マインドの動向等のリスクがあります。

当社グループは、創業以来の事業であるコンテンツ事業に経営資源を集中し、当該事業の更なる成長により企業価値の向上を目指してまいります。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,023,967千円（前年同期比13.6%減）、営業利益237,759千円（前年同期比9.2%減）、経常利益262,217千円（前年同期比29.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益159,826千円（前年同期比36.1%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

（コンテンツ事業）

コンテンツ事業の売上高は2,023,514千円（前年同期比13.6%減）、セグメント利益408,930千円（前年同期比6.0%減）となりました。

当該事業の更なる成長を目指して、スマートフォン向けゲームを軸としつつパッケージソフトやリアル商品など他のコンテンツビジネスへの領域拡大やコンテンツビジネス間のシナジーを一層、図るべく取り組んでおります。

主軸のスマートフォン向けゲームにおいては、新たに人気キャラクター「リラックマ」において初めてとなる農園ゲームを2019年8月に提供を開始いたしました。また、人気ゲームシリーズ「メダロット」の最新作をシリーズ初のスマートフォン向けゲームとして2019年秋冬期での提供を目指し開発中であります。

（再生可能エネルギー事業）

再生可能エネルギー事業の売上高は452千円（前年同期比54.4%減）、セグメント損失10,511千円（前年同期は29,861千円のセグメント損失）となりました。

当該事業については事業中止の方針に基づき、2019年7月に事業中止を完了いたしました。

当第2四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末と比較して255,213千円減少した10,415,887千円となりました。その主な要因は、売掛金が130,648千円、現金及び預金が123,971千円の減少となったことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比較して275,125千円減少した587,034千円となりました。その主な要因は、営業未払金が176,833千円及び流動負債のその他が152,196千円の減少となったことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して19,912千円増加した9,828,853千円となりました。その主な要因は、利益剰余金が47,638千円の増加となったものの、その他有価証券評価差額金が40,380千円の減少となったことによるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」）は6,242,553千円と前連結会計年度末より123,971千円の減少となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況及びこれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は9,761千円（前年同期比66.7%減）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益262,217千円、売上債権の減少額130,648千円の増加要因があったものの、営業未払金の減少額176,833千円、未払金の減少額104,308千円、受取利息及び受取配当金44,194千円、法人税等の支払額43,737千円の減少要因があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は2,016千円（前年同期は692,962千円の資金増加）となりました。これは主に、その他による7,073千円の減少要因があったものの、投資有価証券の売却及び償還による収入5,056千円の増加要因があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は120,870千円（前年同期は144,903千円の資金減少）となりました。これは主に、配当金の支払額118,461千円によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における当社グループ全体の研究開発活動の金額は129,874千円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	47,480,000
計	47,480,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (2019年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (2019年11月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	10,649,000	10,649,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数100株
計	10,649,000	10,649,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年7月1日～ 2019年9月30日		10,649		2,669,000		667,250

(5) 【大株主の状況】

2019年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 (自己株式を除く。)の総数に 対する所有株式 数の割合(%)
I I B 株式会社	東京都渋谷区大山町34-17	4,400	45.8
神藏孝之	東京都渋谷区	303	3.2
SMBC日興証券株式会社	東京都千代田区丸の内3丁目3番1号	170	1.8
株式会社サミット	大阪府大阪市北区梅田1丁目3-1-900号	151	1.6
有限会社秀インター	東京都渋谷区松濤 1 丁目7-26	100	1.0
楽天証券株式会社	東京都世田谷区玉川1丁目14番1号	96	1.0
大上二三雄	東京都港区	81	0.8
中根昌幸	東京都足立区	80	0.8
日本証券金融株式会社	東京都中央区茅場町1丁目2-10号	78	0.8
井川圭史	神奈川県横浜市磯子区	72	0.8
計		5,532	57.6

(注)上記のほか当社所有の自己株式1,051千株があります。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2019年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 1,051,300		
完全議決権株式(その他)	普通株式 9,595,100	95,951	
単元未満株式	普通株式 2,600		
発行済株式総数	10,649,000		
総株主の議決権		95,951	

(注) 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、株式会社証券保管振替機構名義の株式が3,300株含まれております。

また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数が33個含まれております。

【自己株式等】

2019年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
イマジニア株式会社	東京都新宿区 西新宿二丁目7番1号	1,051,300	-	1,051,300	9.9
計		1,051,300	-	1,051,300	9.9

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(2019年7月1日から2019年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、東陽監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,366,524	6,242,553
売掛金	1,007,846	877,197
有価証券	3,239	3,038
商品及び製品	7,769	16,300
仕掛品	3,472	8,769
原材料及び貯蔵品	19	20
その他	35,254	55,775
貸倒引当金	826	1,050
流動資産合計	7,423,300	7,202,604
固定資産		
有形固定資産	39,966	35,177
無形固定資産	6,946	6,235
投資その他の資産		
投資有価証券	2,719,897	2,664,873
破産更生債権等	120,313	116,985
その他	484,390	510,396
貸倒引当金	123,713	120,385
投資その他の資産合計	3,200,887	3,171,870
固定資産合計	3,247,801	3,213,283
資産合計	10,671,101	10,415,887
負債の部		
流動負債		
買掛金	18,939	14,576
営業未払金	452,628	275,795
未払法人税等	56,257	97,872
賞与引当金		16,500
返品調整引当金	1,488	1,639
その他	332,846	180,650
流動負債合計	862,160	587,034
負債合計	862,160	587,034
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,669,000	2,669,000
資本剰余金	2,466,023	2,466,023
利益剰余金	5,288,728	5,336,367
自己株式	622,364	622,364
株主資本合計	9,801,387	9,849,026
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	79,887	120,267
その他の包括利益累計額合計	79,887	120,267
非支配株主持分	87,441	100,094
純資産合計	9,808,940	9,828,853
負債純資産合計	10,671,101	10,415,887

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	2,341,956	2,023,967
売上原価	1,056,493	830,304
売上総利益	1,285,462	1,193,662
返品調整引当金繰入額		151
差引売上総利益	1,285,462	1,193,511
販売費及び一般管理費	1,023,625	955,751
営業利益	261,837	237,759
営業外収益		
受取配当金	114,033	42,382
為替差益	46,889	
その他	20,129	4,715
営業外収益合計	181,051	47,097
営業外費用		
為替差損		21,399
投資有価証券売却損	71,097	
持分法による投資損失	54	1,039
その他	51	202
営業外費用合計	71,204	22,640
経常利益	371,685	262,217
税金等調整前四半期純利益	371,685	262,217
法人税、住民税及び事業税	91,221	91,198
法人税等調整額	22,142	1,461
法人税等合計	113,364	89,736
四半期純利益	258,321	172,480
非支配株主に帰属する四半期純利益	8,310	12,653
親会社株主に帰属する四半期純利益	250,011	159,826

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	258,321	172,480
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	110,666	40,380
その他の包括利益合計	110,666	40,380
四半期包括利益	368,987	132,100
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	360,677	119,446
非支配株主に係る四半期包括利益	8,310	12,653

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	371,685	262,217
減価償却費	8,100	5,738
貸倒引当金の増減額(は減少)	8,319	3,103
賞与引当金の増減額(は減少)	16,500	16,500
受取利息及び受取配当金	115,494	44,194
為替差損益(は益)	4,506	10,846
投資事業組合運用損益(は益)	1,590	35
持分法による投資損益(は益)	54	1,039
売上債権の増減額(は増加)	127,031	130,648
たな卸資産の増減額(は増加)	37,010	13,829
経費前払金の増減額(は増加)	5,298	16,256
破産更生債権等の増減額(は増加)	7,945	3,327
仕入債務の増減額(は減少)	6,643	4,362
営業未払金の増減額(は減少)	40,724	176,833
未払金の増減額(は減少)	20,599	104,308
前受金の増減額(は減少)	10,523	19,107
その他	21,873	31,110
小計	49,164	17,246
利息及び配当金の受取額	95,540	36,266
利息の支払額	34	13
法人税等の還付額	0	
法人税等の支払額	115,330	43,737
営業活動によるキャッシュ・フロー	29,340	9,761
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却及び償還による収入	2,613	
投資有価証券の取得による支出	324,294	
投資有価証券の売却及び償還による収入	1,014,821	5,056
その他	178	7,073
投資活動によるキャッシュ・フロー	692,962	2,016
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	142,537	118,461
その他	2,366	2,409
財務活動によるキャッシュ・フロー	144,903	120,870
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,506	10,846
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	581,905	123,971
現金及び現金同等物の期首残高	4,049,937	6,366,524
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,631,843	6,242,553

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第2四半期連結会計期間において、ストックウェザー株式会社の株式を一部売却したため、持分法適用の範囲から除外しております。

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
賞与引当金繰入額	16,500千円	16,500千円
支払手数料	249,111	255,180
貸倒引当金繰入額	8,319	3,103

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
現金及び預金勘定	4,631,843千円	6,242,553千円
現金及び現金同等物	4,631,843	6,242,553

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年5月15日 取締役会	普通株式	143,964	15	2018年3月31日	2018年6月7日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年10月31日 取締役会	普通株式	119,970	12.5	2018年9月30日	2018年12月3日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年5月15日 取締役会	普通株式	119,970	12.5	2019年3月31日	2019年6月6日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年10月31日 取締役会	普通株式	143,964	15	2019年9月30日	2019年12月2日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	コンテンツ 事業	再生可能 エネルギー 事業	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高					
外部顧客への売上高	2,340,964	991	2,341,956		2,341,956
セグメント間の内部 売上高又は振替高					
計	2,340,964	991	2,341,956		2,341,956
セグメント利益 又は損失()	434,932	29,861	405,071	143,233	261,837

(注) 1. セグメント利益(又は損失)の調整額は、セグメント間取引消去 1,637千円、各報告セグメントに配分していない全社費用141,595千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等にかかる費用であります。

2. セグメント利益(又は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	コンテンツ 事業	再生可能 エネルギー 事業	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高					
外部顧客への売上高	2,023,514	452	2,023,967		2,023,967
セグメント間の内部 売上高又は振替高					
計	2,023,514	452	2,023,967		2,023,967
セグメント利益 又は損失()	408,930	10,511	398,419	160,660	237,759

(注) 1. セグメント利益(又は損失)の調整額は、セグメント間取引消去100千円、各報告セグメントに配分していない全社費用160,760千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等にかかる費用であります。

2. セグメント利益(又は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
1株当たり四半期純利益	26円04銭	16円65銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	250,011	159,826
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円)	250,011	159,826
普通株式の期中平均株式数(千株)	9,597	9,597

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

2019年10月31日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

- (イ) 中間配当による配当金の金額・・・・・・・・・・143百万円
- (ロ) 1株当たりの金額・・・・・・・・・・15円00銭
- (ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日・・・・・・2019年12月2日

(注) 2019年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年11月13日

イマジニア株式会社
取締役会 御中

東陽監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 佐山正則 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 川久保孝之 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているイマジニア株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(2019年7月1日から2019年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、イマジニア株式会社及び連結子会社の2019年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。